

やつらが来る

松本 俊彦 京都府京都市 五十八歳

この時期、またやつらがやってくる。そして、うちの裏庭を我が物顔に占拠する。やつらの名はミント。もともと誰かにもらってきたものを裏庭に植えたのだが、それが間違いだった。やつらの繁殖力は半端ではない。あつという間に二倍三倍と増えていく。摘んでも摘んでも効きはしない。摘んだ数日後には、何事もなかったように元通りになっている。ミントティーだって、そんなに何杯も飲めるものではない。そして、もうひとつの勢力。シソ。こいつの増え方も侮れない。ちよつと雨でも降ろうものならここぞとばかりに陣地を拡大していく。しかし、シソはまだ可愛げがある。シソもそんなにバクバク食べられるものではないが、それでも刻んでそうめんの薬味ぐらいにはなる。おかげで、もう長いことスーパーでシソを買ったことがない。ミントはもともと買って食べたりしていなかったから、邪魔者感が強いのだ。

先日、テレビのクイズ番組を見ていたらこんな問題が出た。「ミントは何科の植物でしょう。」何かなあと考えていたら、正解は「シソ科」だった。おいおい、お前たち親戚だったのか。お前たちの家系でうちの裏庭の半分以上を占拠するとはどういうことだ。しかし、やつらに罪はない。うわあ、またかなんて言いながら、つかず離れずつきあっていくか。